

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



暑かった夏が終わりに近づく



- **今夏の気象**を果樹栽培面から振り返ります。
- 梅雨期間中の気象変動は大きく、一度発表された**梅雨明け日**が7月23日に変更される程でした。全般には山梨県下において**気温が平年より高く、降水量は少ない**傾向でした(表)。
- 6~7月の平均気温は過去50年間で4番目と**高温傾向が顕著**でした(図1)。
- 特に6月下旬は日射量強い状況が続き、摘粒作業中の幼果で一時的に**日焼け症状**を発生しやすくなり、クラフト傘などによる遮光処理が必要でした。
- 反対に、夏季を通した6~8月の降水量は過去50年間で9番目の**少なさ**でした(図2)。
- このため、砂地や粘土質土壌の園地を中心に乾燥害を受けないようにスプリンクラーやポンプによる**灌水**を行いました。
- 一方、雨水が感染源となるべと病等の**病害**の発生については農業共済への被害申請数は9月上旬時点で**少ない**状況です。
- これらの苦勞が実り、また日照時間に恵まれ9月上旬時点で巨峰・ピオーネ、シャインマスカット等の**主力品種の出荷が順調に進んで**います。
- 今夏の経験は、温暖化が進行する状況において、**灌水施設の整備**や**安定栽培技術**や**新品種開発**の重要性を示しています。

表. 今夏(6~8月)の気象(甲府気象台)

観測月	平均気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(h)
6月	23.2	55.5	180.5
平年値	22.3	113.4	149.9
7月	26.9	113.5	172.8
平年値	26.0	148.8	168.2
8月	27.5	111.5	154.8
平年値	27.1	133.1	197.0

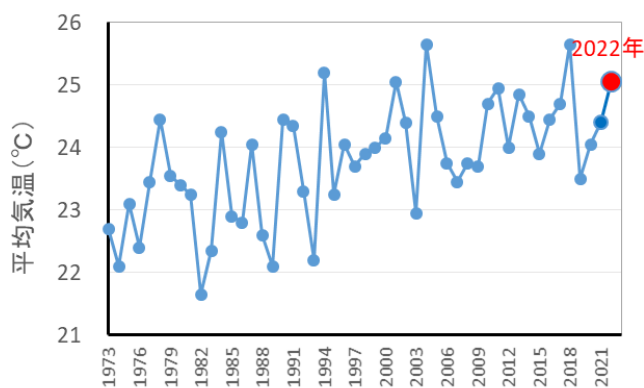


図1. 過去50年間の6~7月平均気温(甲府)

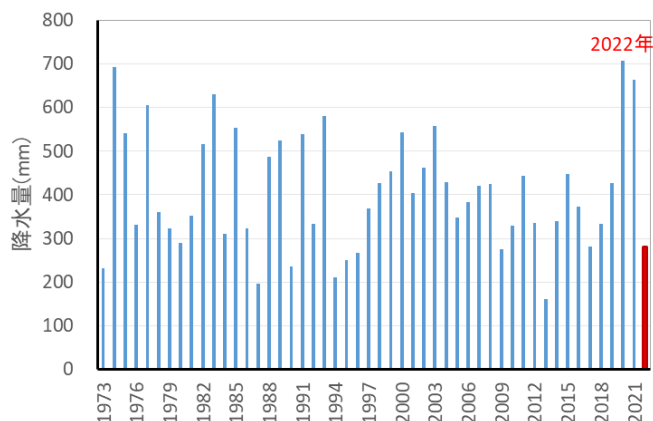


図2. 過去50年間の6~8月降水量(甲府)